

## 下水道事業特別会計

**高橋秀之委員** 下水道施設修繕事業の工事請負費増額の要因は。

**宮下係長** 下水道管理センターの流量計と濃度計、併せて6台の更新をするため。

**西澤委員** 地方公営企業法適用化事業の金額が、簡易水道事業会計と同じ項目で同額だが。

**宮下係長** 企業会計システムが下水道と簡易水道、同一の業務のため案分している形になる。



## 地域の課題をとらえて

### 2氏が一般質問



植村 敦

・活力と賑わいを創る政策について

**質問** 町内酪農業者に対する支援策をどのように考えているのか。

**町長** 今年度から後継者や第三者継承予定者に対して奨励金を交付し、経営基盤の強化と地域酪農の持続的発展を図ることを目的とした「幌延町農業経営継承奨励事業」を実施する。

また、従来の「生乳生産拡大事業」を見直し、低能力牛の更新、初妊牛導入も事業対象に加え、良質乳の生産向上により、生乳生産力の維持、拡大を図ろうと考えている。

**質問** 酪農の基盤である草地更新での種子と肥料代を条件付きで補助できないか。

**町長** 本町の酪農は自然条件や営農環境から、草地型酪農が望ましく、これまで数々の土地改良事業を各農家の努力で行われ、強固な自給飼料基盤を確立してきた。

今後、農家の皆さんが意欲を持って営農できるように、農協や関係機関と協議しながら、どのような対策が必要なのか検討を進め、新年度内できちんと話をしていきたい。

**質問** 冬季間委託できる育成センター事業はどの様になっているのか。

**町長** 今、担当課内で構想を思案中なので、ある程度まとまった時点で農協と協議しながら前へ進めたい。施設設備自体相当コストの大きなものになる事業と考える。

**質問** 町の拠点づくりについては「道の駅」構想として協議が進められてきたと思うが、今後どのように具体化していくのか。

**町長** 当初から道の駅という構想で進んできてはいない。複合的な拠点整備ということでスタートしている。

今年度はこれまで幌延まち・ひと・しごと創生会議や町民の皆様から頂いた意見を基に検討してきたことを整理し、住民生活の利便性向上につながる機能サービス、老朽化などにより更新を要する公共施設との複合的な施設整備について検討を深める。

**質問** 拠点づくり施設の名称も含めもっと具体的に町民に示すべきではないか。

**町長** 新型コロナウイルス感染症の影響で、ここ2年ほど、町民を対象とした会議が開催されていない。しかし、今までの会議やアンケートでは、高齢者及び子供の交流と生活の拠点としての機能や、町民の利便性向上と憩いの場などの意見が多く寄せられた。これらの意見から施設の建設は街中の傾向が強くなったと感じている。

新しい体制での創生会議や役場内での検討に加え常任委員会等で十分議論を重ねたうえで町としての方針を示していきたい。